



恵那市地域クラブの概要と運営支援

～生徒の多様な活動機会を地域で支えるために～

1. 中学校部活動の現状と課題

- | | |
|--------------|---|
| (1) 活動時間の減少 | 平日の活動 週4.5時間（H30年）から週40分（R6年）に |
| (2) 生徒数の減少 | チーム編成や多様な部活動が困難に
保護者クラブ運営の経済的・時間的負担の増加 |
| (3) ニーズの多様化 | 競技志向・交流志向など様々な希望
学校統合で消滅する伝統文化継承等の継続 |
| (4) 専門指導者の不足 | 教員の働き方改革、指導者確保（後継）問題 |

参照 ガイドライン P3

2. 問題を解決する「地域クラブ」

令和7年度、恵那市地域クラブ準備委員会を5回開催し、ガイドラインの整備をはじめ地域クラブの設立に向け検討を行った。

地域クラブの目的

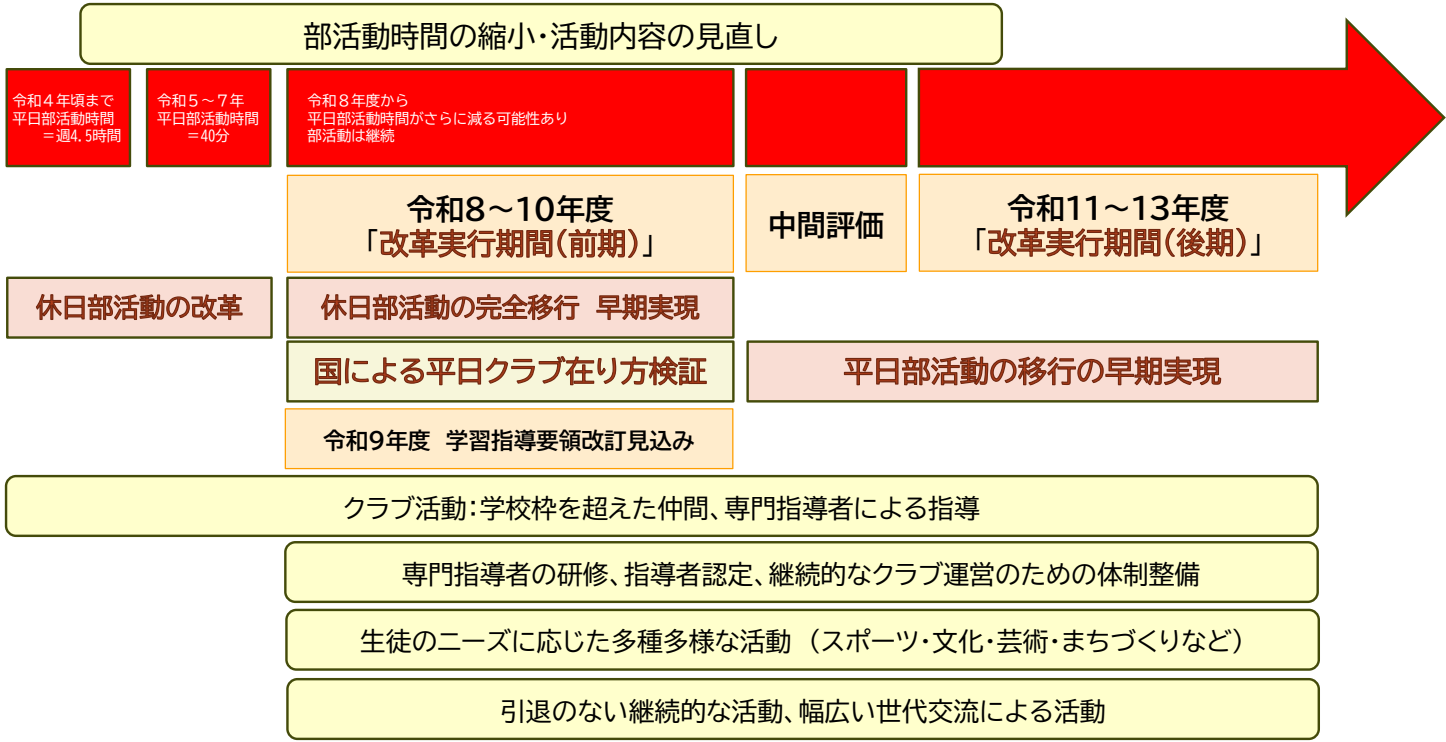
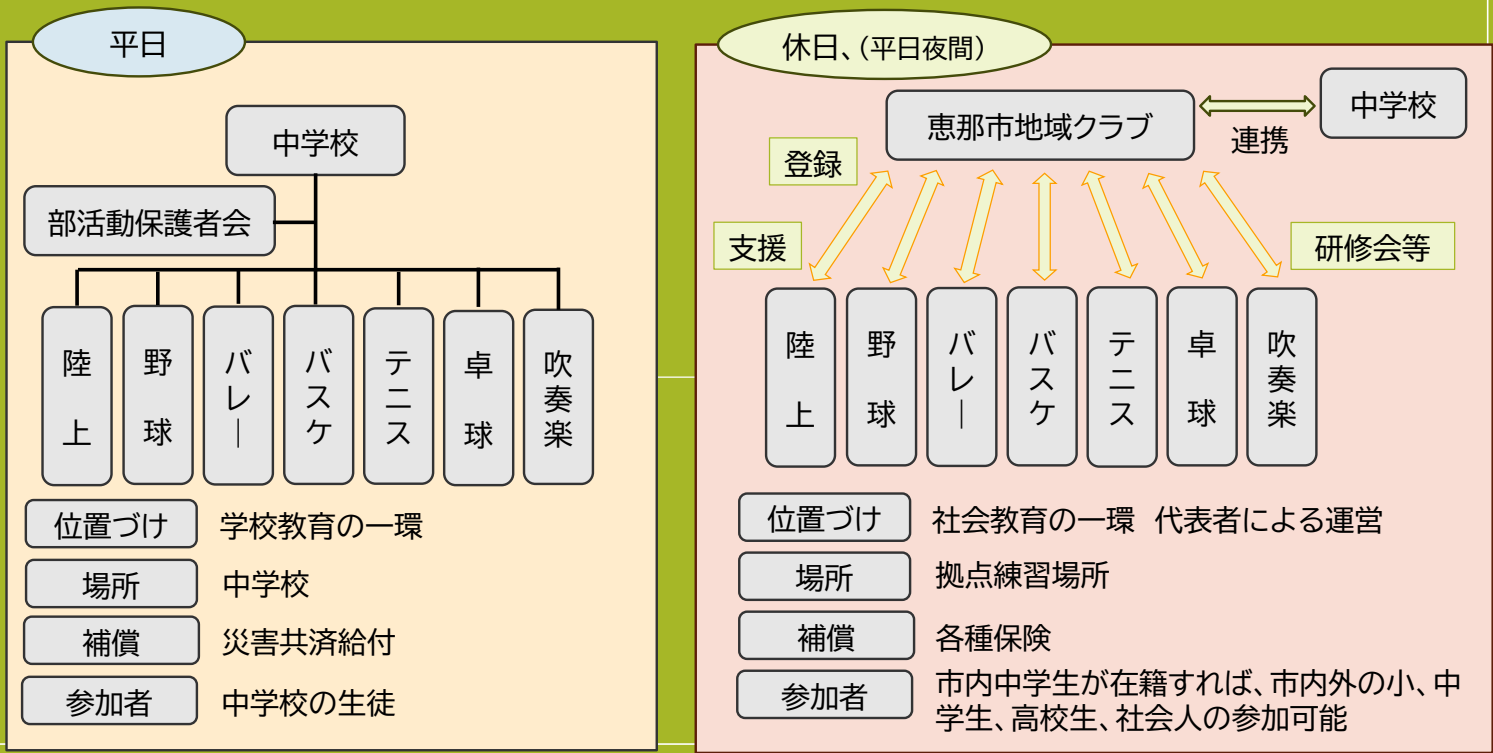
生徒が将来にわたって継続的に安心かつ安全にスポーツ、文化・芸術活動に親しみ、自らの可能性を広げる。

3. 地域クラブの基本方針

- (1) 市教育委員会主導でスポーツ・文化団体と連携
- (2) 校区を越えて自由に活動参加できる環境を整備
- (3) 指導者・保護者向けの研修・支援体制の構築
- (4) 持続可能なクラブ運営の実現



令和8年 4月以降の恵那市における「休日部活動の地域展開」イメージ図



4. 各種クラブの運営

目指す姿

1. 体験・交流を通じた人間関係と自己成長
2. 生涯スポーツ・文化活動の基盤づくり
3. 指導者・保護者の研修・交流による支援強化

加入対象

1. 市内中学生中心（5名以上、過半数が市民であること）
2. 小学生・高校生・社会人も参加可能

登録/運営

1. 年度ごとの申請・更新
2. 規約・運営組織・会計の明確化

参照 ガイドライン P4

5. 各種クラブの運営

代表者・指導者・会計責任者の配置（18歳以上）

生徒の意思を尊重した運営

活動計画・実績報告の提出

適切な活動時間・休養日の設定
（週11時間、休養日週2日）

参照 ガイドライン P5、6

各種クラブの運営

6. 安全・コンプライアンス

事故防止・健康管理の徹底

人権尊重・ハラスメント根絶

個人情報保護・画像利用制限

保険加入の義務化

参照 ガイドライン P6, 7

各種クラブの運営

7. 施設・大会参加・会費

施設・備品の共同利用と管理

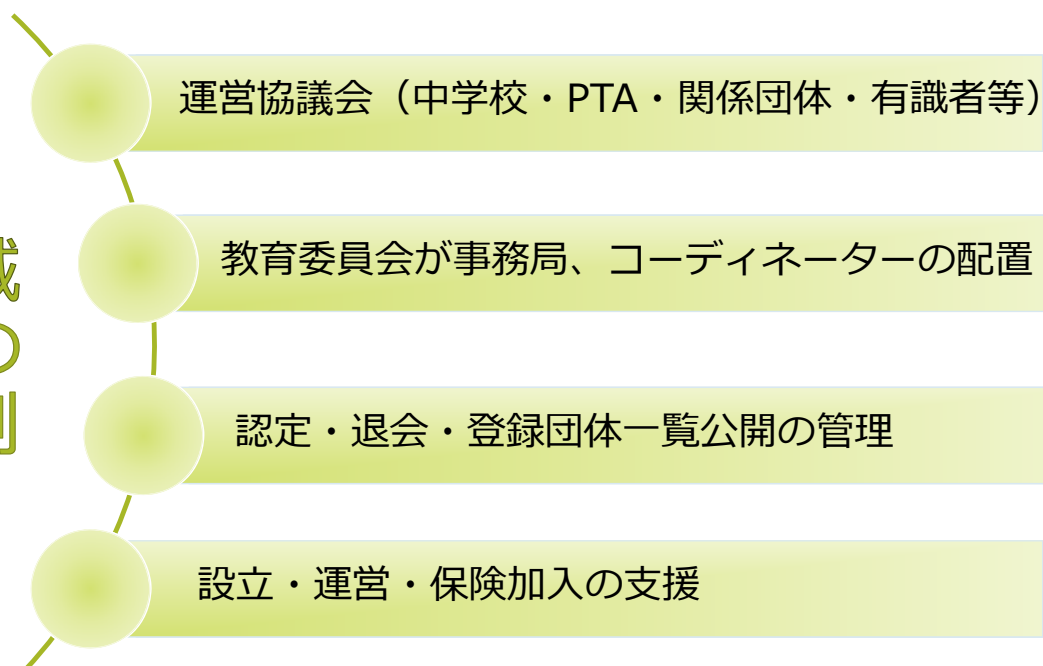
大会・コンクール参加の支援

低廉な会費設定と公正な会計

中体連大会参加の項目になる可能性

参照 ガイドライン P7, 8

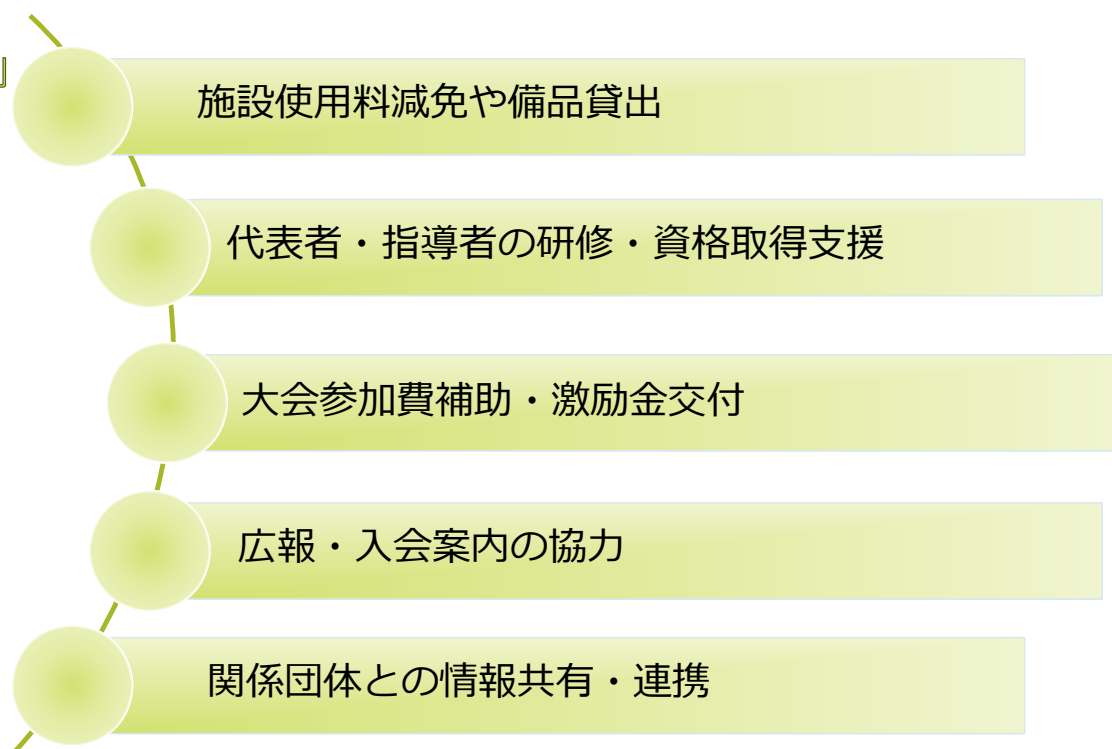
8.市地域 クラブの 運営体制



参照 ガイドライン P9

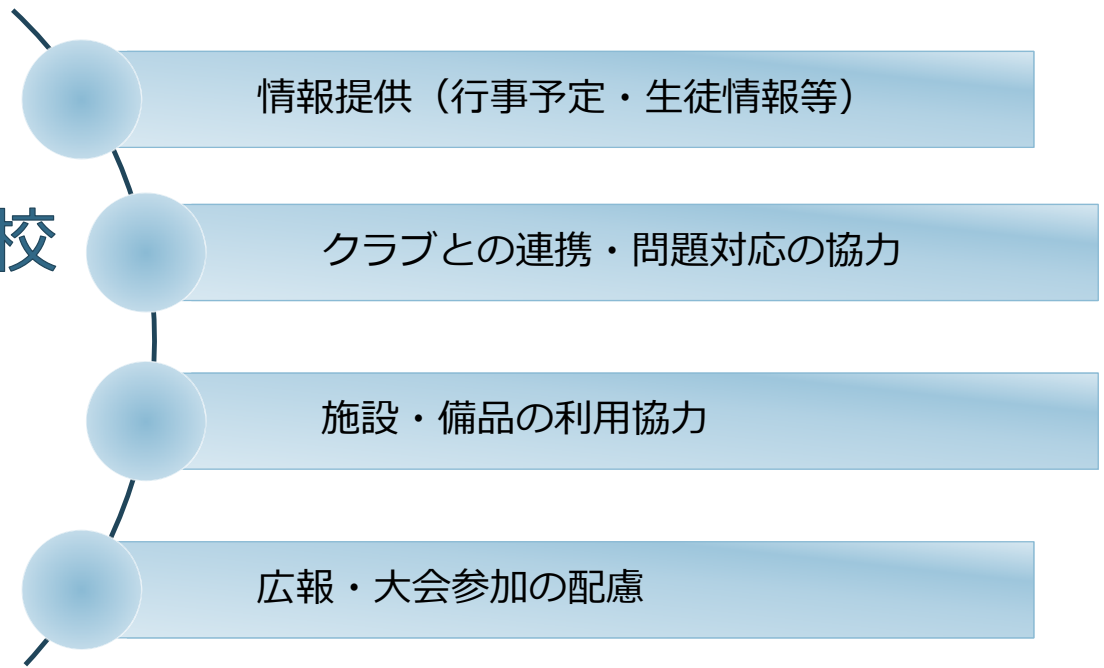
市地域クラブ運営体制

9. 支援 ・連携 ・広報



参照 ガイドライン P10, 11

10. 中学校 の役割



参照 ガイドライン P12

11. 国の方針（支援）

① 休日の地域クラブ活動の活動費の支援

人件費、諸謝金、旅費、通信運搬費、備品費、消耗品費等（施設改修費は対象外）

※平日は対象外

② 地方公共団体の体制整備等

コーディネーターの配置

研修費用

③ 経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援

月会費、保険料

国の活動費支援単価

【補助単価：1クラブ／年額】

※参加生徒数は、各月の参加生徒数の年間平均で算出する（小数点以下は切り上げ）。

		月4回程度活動	月3回程度活動	月2回程度活動	月1回程度活動
(1)	参加生徒数27人以上で 指導者を3人以上配置	スポーツ：673千円 文化：691千円	スポーツ：550千円 文化：569千円	スポーツ：427千円 文化：446千円	スポーツ：305千円 文化：323千円
(2)	参加生徒数13人～26人で 指導者を2人配置	スポーツ：576千円 文化：596千円	スポーツ：475千円 文化：494千円	スポーツ：373千円 文化：393千円	スポーツ：272千円 文化：291千円
(3)	参加生徒数5人～12人で 指導者を1人配置	スポーツ：423千円 文化：443千円	スポーツ：356千円 文化：377千円	スポーツ：290千円 文化：311千円	スポーツ：224千円 文化：245千円

※休日活動分のみが対象

※恵那市は、国の示す補助単価内で調整を行っています。地域クラブ設立総会にて額をお示しする予定です。